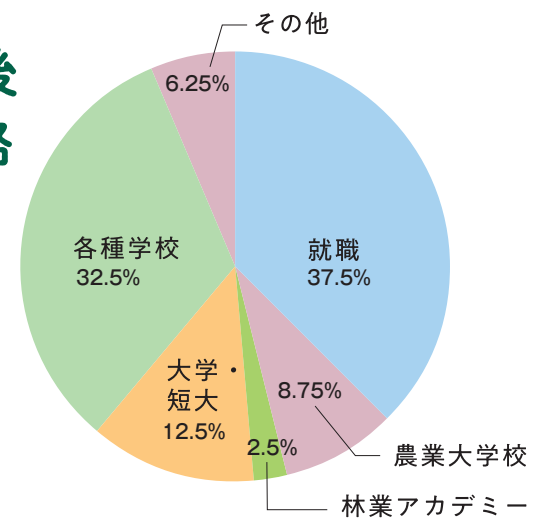


卒業後の進路



主な進学先

過去3年間（順不同）
高知大学、福井県立大学、東京農業大学、南九州大学、COIU、徳島文理大学、山陽学園大学、静岡県立農林環境専門職大学(短)、四国大学(短)、健祥会学園、専門学校徳島穴吹カレッジ、徳島医療福祉専門学校、辻調理師専門学校、神戸製菓専門学校、岐阜県立森林文化アカデミー など

主な就職先

過去3年間（順不同）
徳島市公園緑地管理公社、大和合金、阿波製紙、ハローズ、マックスバリュ西日本、シモハナ物流、ナカムラ広報、西精工、田岡病院、リゾートトラスト、A L S O K 徳島、日電徳島、ホテルグランドパレス、加藤自動車相談所、自衛隊 など

卒業生の声



鶴田にこさん

東京農業大学 国際食料情報学部へ進学
／神奈川県出身

私は、神山という地で農業高校ならではの授業を通して、食の豊かさや農業の楽しさ、奥深さを学ぶことができました。特に農業実習では、育てる、町内で販売する、自分たちもいただくという実践的な授業だったため、自分の経験を通して農業に触れられたことが良かったです。そして、神山校の先生方の楽しそうな姿を見て「農業高校の教員になる」という夢を抱くようになりました。農業大学では栽培、加工、販売などより幅広く学びを深めています。

卒業生の声



大東伊織さん

高知大学 地域協働学部へ進学
／徳島県出身

入学前は自分の殻にこもっていたのですが、神山校で学ぶ中で、気の合う友人や素敵なまちの大人たちに出会い、一気に自分の世界が広がりました。このまちでの出会いから地域の多様なつながりに興味を持ち、今は高知大学地域協働学部で地域づくりについて学んでいます。大学生活では、神山校で身につけた、「伝え、深め、協働する力」が確実に役立っていることを実感しています。神山校での3年間は私にとって人生の転機であり、最高の青春でした！

卒業生の声



坂本愛輝さん

(株)アライ造林へ就職
／徳島県出身

神山校は、楽しく専門的なことを学べる学校だと思います。また、校外で学ぶ機会も多くあり、地域の人との交流で様々なことを知ることができました。農業実習では、チェーンソーや刈払機を使った技術の習得だけでなく、コミュニケーションをとってチームで動く大切さにも気づくことができました。私は今、実際に林業会社に勤めており、環境デザインコースで学んだこと、取り組んだことを活かして作業に取り組んでいます。

保護者の方より

神山校で過ごした3年間は、子どもにとっては何気ない学校生活だったと思いますが、私から見ると、社会に出る前の準備を気がつかない間に身に付けていた期間だったと思います。自分自身が率先して取り組むことにより、立ち向かう強い心、成功の喜びと達成感、そしてたまには挫折、という貴重な経験を得ることができたのではないかと思います。自分を大切に、友達を大切に、自然を大切にできる人に成長した3年間でした。(令和5年度卒業生保護者・高橋さん)

神山校の先生は生徒一人一人の個性に寄り添い、きめ細やかに学習内容だけでなく人間としての成長支援もしてくれていました。息子は、学校で、まちで、自然の中で、食、農、イベントなどいろんな大人と一緒に考え、実行する楽しさを知り、もっと学びたいという思いで大学への進学を選びました。大学受験のために通った高校ではありませんが、学校とこのまちが自分の進路を決める力を育ててくれたと思います。(令和5年度卒業生保護者・押塚さん)

進路支援の先生より



富永智美先生

神山校では、畑やまちも学びの場となります。神山創造学、課題研究、石積み・まめのくぼプロジェクトなど、はじめての経験や仲間との協働作業、地域の様々な人との交流を通して、多様な価値観に触れ、豊かな感性で物事を捉え、自分の好きなことや目標を見つけ、3年後には大きく成長し巣立っていきます。農業に興味がある人や、新しいことに挑戦したい人、人と関わることが好きな人は神山校と一緒に学びましょう。

県内から通学する方へ

アクセス

在校生は、バス・JR・自転車・徒歩・原付*にて登校しています。

*原付での通学は、1年生の夏以降一定の条件を満たせば可能です。

バスの場合 徳島駅方面から約60分
徳島バス 神山線 —— 石井経由「神山高校」行き
徳島バス 佐那河内線 —— 「神山高校」行き

通学費助成

check!

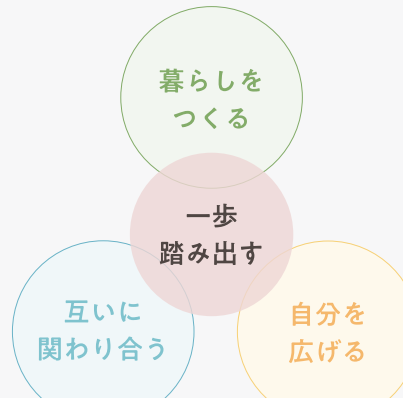
神山校への通学に利用する路線バスおよびJRなどの公共交通機関における利用区間の定期券購入費用の3分の1を神山町から助成いただいています。(令和9年度以降は未定)



県外または県内遠方から入学を希望する方へ

寮〔あゆハウス〕

神山で暮らすことを希望する神山校生のための少人数制の町営寮です。寮生とサポートする地域のハウスマスターが日々話し合い、自分たちで暮らしをつくっています。また、まちの多様な人・自然との触れ合いを通じて、自身の可能性を広げていくことができます。



あゆハウスで暮らす寮生とハウスマスターが大切にしている暮らしの方針

詳細はこちら



徳島県立城西高等学校神山校

JOSEI HIGH SCHOOL IN KAMIYAMA



地域で学び、地域と育つ

徳島県立城西高等学校神山校

〒771-3311 徳島県名西郡神山町神領北 399
TEL 088-676-0029 FAX 088-676-1271

<https://joseikamiyama-hs.tokushima-ec.ed-jp/>



ホームページ
はこちら



2027



学びの場
まめのくぼ

神山校

JOSEI HIGH SCHOOL IN KAMIYAMA

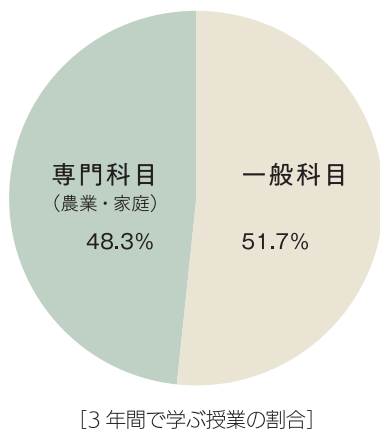
城西高校神山校は「地域で学び、地域と育つ神山校」をスローガンに、学校の中だけでなく、神山町の文化や産業、地域全てを学びのフィールドにした学習を展開している農業高校です。そして、自分の思いを表現する【伝える力】、多様な人たちと関わり合う【協働する力】、経験から学びを獲得する【深める力】の育成を目指し、3年間を通して、学校と地域の中で多様な経験を積み、自分で物事を考え、行動する力を育みます。

そんな神山校がある神山町は、人口約5000人の山あいの小さなまちです。「創造的過疎」を合言葉の一つに、過疎化の現状を受け入れながらも、町外から若者やクリエイティブな人材を迎え入れるなど、多様性に富むユニークな働き方や暮らし方が実現できる様々な取組が重ねられています。

地域創生類



実習や座学を通して基礎的な知識や技術を習得し、自らが主体となって問題の改善や解決に向かう態度や資質を養います。自らの興味や適性をしっかりと確かめた上で、2年進級時に環境デザインコースか食農プロデュースコースを選択します。



環境デザインコース

地域の自然や景観について感性や認識を深め、造園に関する知識や技術を習得し、農林業を基盤として農山村の自然環境維持や地域景観の保全に取り組みます。地域社会の担い手となる知識や技術の習得を目指します。

こんなことを
学びます

- 取得できる資格
- 日本農業技術検定 3級 / 造園技能検定 2級・3級 / チェーンソー特別教育 / 刈払機取扱作業教育

まちの風景をつくる石積み



科目 | 総合実習

県内で唯一学べる造園技術



科目 | 造園施工管理

種から苗木を育てる



科目 | 造園植栽

チェーンソー講習・伐木実習



科目 | 森林科学

食農プロデュースコース

安全安心な農産物の生産から商品開発、加工、販売までの、6次産業化に向けた学習を実践を通して学びます。GAPや地産地消について地域と協働しながら取り組み、エシカル消費やSDGsを推進し、食と農を次世代につなぐ知識や技術の習得を目指します。

こんなことを
学びます

- 取得できる資格
- 日本農業技術検定 3級 / 食料調理技術検定 2級・3級 / 食品衛生責任者養成講習

地域の素材を活用した調理実習



科目 | フードデザイン

加工品の開発・商品化



神山校産すだち入りのソーセージを開発!

科目 | 食品製造

農産物・加工品を町内外で販売



科目 | 地域資源活用

安全安心で持続的な野菜づくり



科目 | 野菜

神山校の特徴



地域と教室が 学びの場

校外において様々な年代の、様々な職種の人たちと関わり合いながら、教科書では学べないことを、実社会で体験します。神山創造学や課題研究などで積極的に地域に出向きます。



自然の中で 五感を使って学ぶ

神山町の自然の中で、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じて、体験して、教室の中だけでは得られないことを学びます。五感をフルに使うことにより、地域資源を活用した社会システムや日々の暮らしに役立ちます。



1クラス15人の 少人数教育

15人の中で、一人一人が主役になり、また脇役になります。自分を表現し、思いを伝え、他者の表現を受けとめます。自分のために、そして誰かのために考え行動できるようになります。



何でも 自分でつくる

仲間や地域の人たちと協力して「つくり出す」経験を積み重ね、できることを増やします。試行錯誤し、一つのものをつくり上げた経験とその達成感が、「自信」という大きな財産をもたらし、次への挑戦へとつながります。



3年間の実践を通して力を身につける 神山校独自の授業

神山創造学

1年生

フィールドワーク・しごと体験・聞き書き



地域の先輩から学ぶ聞き書き体験

2年生

チームでプロジェクトに挑戦

プロジェクト例



木を活用したものづくりとしてプランコを制作

3年生

課題研究

個人で探求したいテーマを見つけて実践

プロジェクト例



子どもたちの苦手な野菜を使ったクッキー開発



高齢者の方々と交流する食事会の開催

まち全体を学び場に、様々な人たちと出会い、地域のことを学ぶ中で、自分たちにできることを考え実践していく「手づくり」の授業です。1年生はフィールドワーク、しごと体験、聞き書きを通して地域に触れ、2年生は興味のあるテーマを選び、チームでの協働プロジェクトに挑戦します。最終学年では3年間の集大成として、探究したいテーマを見つけ、自ら計画を立てて取り組みます。

地域で学ぶプロジェクト



石積みプロジェクト

神山町は昔から石積みをするので、まちの景観を整えてきました。その技術を次世代に残すためにも、全校生徒が石積み体験をしています。石積みの技術を習得することで、防災や生物多様性などの環境保全の学びになっています。



まめのくぼプロジェクト

農業後継者の減少に伴う耕作放棄地「まめのくぼ」で、棚田の再生・管理から在来小麦の栽培、加工、販売までを目指して実践的な学びを行っています。また、石積み改修や間伐などの景観保全の活動を展開しています。



地域住民や企業が清掃活動を行うアドプト・ア・ハイウェイ



1年生のしごと体験と希望者によるインターンシップ



多彩な講師による外部講師招聘事業